

山梨県の広報誌

ふれあい

特集号

夏

vol.53



巻頭

山梨の森林の 魅力を広げる

アウトドアエッセイスト

木村東吉さん

動画で
見てみよう

山梨の森林の魅力を広げる



本県面積の8割近くを占める森林。中でも、戦後や高度経済成長期に植えられた人工林は、資源として本格的な利用期を迎えています。県では、山梨の森林資源が持つ可能性を最大限に広げていくため、「材」「エネルギー」「場」の3つの観点から、さまざまな取り組みを行っています。



森林が教えてくれたこと、伝えていきたい

多面的な機能を有し、たくさんの方の恩恵を私たちに与えてくれる森林は、県民生活に密着した重要な資源です。

そこで今回は、約20年前、都会から富士河口湖町に移住したアウトドアエッセイスト・木村東吉さんが、富士豊茂小学校の児童たちと一緒に青木ヶ原樹海を訪れ、山梨の森林の魅力やその大切さを語ってくれました。

富士の樹海、大室山の美しいブナ林へ

「青木ヶ原樹海にある大室山は、富士山が噴火した際、溶岩が流れ込まなかった場所です。だからそこには何千年もたつ大きなブナの木がたくさんあります。今日は、その場所に皆さんを案内します。さあ、行こう！」
木村さんの元気な掛け声とともに出発です。

「木をよく見てごらん。コケが多い面があるよね。こっちが北側。森の中で太陽が見えない時でも、植物の育ち方を見れば方角を知ることができるんだよ」と、木村さんが教えてくれる



一番大きなブナの木を目指して歩く、木村さんと子どもたち



東京からわずか1時間半ほどの所に、歴史が育んだ原生林が残っているのは奇跡に近いと思います。富士五湖や樹海など、富士山がつくり上げた自然には、他では味わえない魅力があります

自然の話に耳を傾けたり、溶岩の流れた跡を観察したりしながら樹海を散

策。やがて新緑が美しい大室山のブナ林に到着です。

森林の持つ大切な役割とは

樹海の中とは思えない、明るく広々としたブナ林で「森が持つ大切な役割にはどんなことがある？」と、木村さんが問い掛けると「空気をきれいにしてくれる」「動物が生きる場所」と、子どもたちの答えが返ってきまし

た。にこやかにうなづく木村さんは子どもたちに「森には水を蓄えるという大切な働きもあります」と話を続けます。「雨が降ると森が水を蓄え、栄養素を含んだ水は川となり海に流れ込みます。それが海の栄養になり魚を育てます。みんなが森を大切

にすることは、海を大切にすることに

もつながるんだよ」と、自然の成り立ちを話してくれました。木村さんは、ブナの大木にそっと触れながら「植物は動いていないように見えますが、ゆっくりと動いています。そして、何百年も何千年も生き続け、森をつくってくれます。森は自然界だけでなく、私たちにとても大きな役割を果たしてくれています」と、森と共存する生活の尊さ、素晴らしい子どもたちに話してくれました。

アウトドアエッセイスト 木村東吉さん Tokichi Kimura

1958年大阪府生まれ。
20代はファッションモデルとして活躍。
1996年より日本工学院八王子専門学校のアウトドア実習講師を務める。2001年「全国植樹祭記念式典」NHK実況放送ゲスト解説を務める。2008年スイス政府観光局のアンバサダーを務める。2013年「NHK地方放送文化賞」受賞。
現在は富士河口湖町に拠点を置き、執筆、キャンプ教室の指導、講演、企業広告出演ならびにアドバイザーなど幅広く活躍中。



「大きなブナの木を見られてよかった。木の穴に頭を入れたら涼しくて、ビックリした。木村先生の話聞いて森を大切にしようと思った」と話す、富士豊茂小の子どもたち

豊かな自然を守り伝える、心を持つ

鳥の声と風に揺れる木々の音だけが聞こえてくる森の中で、木村さんは「実際に森に入ってみないと分からないことがたくさんあります。穴のあいた木が天に向かつてどっしりと立っている、鹿に皮を食い散らされた木も頑張つて生きています。森の中に一歩入ると、いろいろなことを感じ取ることができます。子

どもたちには、森のことをよく知ってもらい、この豊かな自然を守り続けていくことの大切さを学んでほしいですね。私も、ここ富士山周辺の自然の魅力を訪れた人たちに伝えていくことが自分の役目だと思っています」と語ってくれました。その穏やかな表情からは自然への深い思いが伝わってきました。



動画で見てみよう! 木村東吉さんのインタビュー

①スマートフォンまたはタブレットに「Layar」のARアプリをダウンロード②無料ARアプリを起動③右の写真にかざした後、タップすると動画が再生されます。





昭和25年、昭和天皇の御臨席のもと、第1回全国植樹祭が開催された地、「武田の杜」(甲府市)。今では、豊かに育った森林が広がっている。

森林資源を利活用 「材」「エネルギー」「場」として

県土面積の約8割を森林が占める全国有数の森林県・山梨には、建築用材となるスギ・ヒノキ・アカマツ・カラマツがバランス良く分布しています。また、森林の所有形態は、国有林が1%、民有林が53%、県有林が46%と、県有林の占める割合が全国で最も高いことが特徴です。その背景には、明治末期、本県で発生した大水害が県民の生活を脅かしていることを知った明治天皇が、県下の御料地のほとんどを県の復興に役立てるようにと、本県に御下賜され、それが県土の約3分の1を占める県有林の基になっているという歴史があります。

高度経済成長長期に植えられた人工林は、今、利活用すべき時期を迎えています。こうした中、県では、平成27年に「やまなし森林・林業振興ビジョン」を策定し、「材」「エネルギー」「場」の3つの観点から、山梨の森林資源が持つ可能性を最大限に広めていくための取り組みを行っています。

特に、「材」では、県産FSC®認証材を、東京オリンピック・パラリンピック関連施設へ建築用材として活用することを積極的に働き掛けています。また、木材需要の拡大につながる新技術・CLT工法

などを普及させるために、県内の公共建築物へのCLTの利用を進めています。「エネルギー」の面では、木質バイオマスを安定供給できる環境を構築し、再生可能エネルギーの利用を促しています。

そして、豊かな森林空間を保健・レクリエーションといった癒やしの場や、観光資源として活用していくなど、「場」としての活用も進めています。

県では今後、森林を計画的に伐採して木材の利用を拡大するとともに、再造林などによる適切な管理に努め、森林資源の循環利用による林業経営を展開していきます。

森林資源の循環利用





材

県産FSC®認証材を核とした 販路開拓と新技術・CLT工法の推進

県産FSC認証材の需要拡大を図るため、東京オリンピック・パラリンピックに向けて整備される施設などへの活用を積極的に働き掛けています。また、国が普及に取り組んでいる新技術・CLT工法などの導入を、本県でも推進しています。

県産FSC認証材を 東京オリンピック・パラリンピック会場へ

本県の県有林は、平成15年4月に公有林としては全国に先駆けて、国際的な森林認証制度である「FSC森林管理認証」を取得しました。認証面積は、14万3千ヘクタールで全国1位。国内認証面積の約3分の1を占め、県有林で生産した木材を、FSC認証材として販売しています。また、カラマツ材が特に豊富なことも県有林の特徴で、強度を求められる大規模施設の構造材としても採用されています。そして何より、希望する樹種、数量などを安定的に供給できる体制が整っていることが強みです。

こうしたことから、県では、東京オリンピック・パラリンピック競技施設や、

選手村仮設休憩施設などへの県産FSC認証材の活用を推進し、仮設施設での使用後は県内の宿泊施設などで再利用することを視野に入れた取り組みも始めました。

県では、今後、県産FSC認証材を県内外で需要拡大できるように、さまざまな取り組みを展開していきます。

【例】東京オリンピック・パラリンピック 選手村仮設休憩施設



再利用 ↓

県内の宿泊施設



FSC森林管理認証を取得した 山梨の県有林の役割

県有林は、木材を効率的に生産する役割を担う「経済林」と、森に水を蓄えたり、土砂崩落を防止するなど「公益林」としての役割を果たしています。FSCの基準では、この公益林をきちんと守りながら、経済林で効率的に木材を収穫するというバランスを保つことが重要です。



責任ある森林管理
のマーク



やまなしFSC認証材製品

FSC森林認証制度

環境、社会、経済の各分野において国際的な基準に従って適切に管理されている森林や、認証材が他の木材と混ざらないようにした加工・流通過程について認証する制度です。認証された森林から生産される木材にFSCマークを付け差別化することで、適正な森林管理を促進する仕組みを作っています。



やまなし森の紙

県産FSC認証材を消費者にとって身近な商品として流通させるため「やまなし森の紙推進協議会」が立ち上げられ、山梨県有林の木から作られた「やまなし森の紙」が平成22年4月から販売されています。

山梨県の広報誌「ふれあい特集号」のほか、山梨県の印刷物に広く使われています。

FSC認証製品

FSC認証材から作られた製品には、FSCマークが付き、認証製品として販売されます。山梨県有林由来のFSC製品を使うことで身近な森の適切な森林管理を支援することができます。

新技术・CLT工法普及による 新たな木材需要の創出

CLT(直交集成板)は、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した重厚なパネルです。欧米を中心にマンションや商業施設などの壁や床に

使用され、各国で需要が伸びています。日本でも林野庁と国土交通省が「CLTの普及に向けたロードマップ」を作成し、普及に関する施策を計画的に進めています。施工が容易で頑丈、熟練工への依存が少なく工期も短縮できるシンプルな施工で、コンクリートより軽いため基礎工事の簡素化

が可能といった特長があり、公共建築物をはじめ、これまで木材が使われてこなかった建築分野への利用も期待されています。

山梨県でも県内初となるCLTを構造部材に使用した屋外休憩施設「サンシェードテラス」を米倉山太陽光発電所の敷地内に建設しました。今後は、建築や林業に携わる方に、この建物を通してCLTを普及していくとともに、建築士を育成する研修会などを開催していきます。

CLT工法の技術に触れられる施設 「屋外休憩施設「サンシェードテラス」

米倉山太陽光発電所の屋外休憩施設「サンシェードテラス」の設計に関わらせていただきました。

CLTは主に構造部材として用いられるため、通常は外装や内装に隠れています。この施設ではCLTの表面や断面を見せることで、木目の美しさや、木のぬくもり、柔らかさを感じてもらえるようにしました。CLTはプレファブ化されているので、集合住宅など画一的な建物を造る際にメリットがあると思います。強度があり柱も

必要なく、開口部も広く取れるため、景観を楽しみたい場所の建物にも適しています。将来的には一般住宅にも活用されることが理想です。CLT工法は新しい技術なので、私たち設計士も勉強会などに積極的に参加し、CLTの持つ可能性を広げ、普及に努めていきたいと思っています。



株式会社 雨宮建築設計事務所
代表取締役 中田 雅弘さん



県産スギを3層にしたCLT、厚さは9センチメートル。屋外休憩施設「サンシェードテラス」では、壁に使用している



3月28日に行なった、CLT工法を活用した屋外休憩施設「サンシェードテラス」の完成式



休憩施設内部には、木製ベンチ20脚を設置



大月短期大学 事務局長
卯月 勝さん

新校舎は延べ床面積2483平方メートルで、約600立方メートルの国産材を使用しており、そのうち強度性能に優れている県産材カラマツが388立方メートル、大月市産材のスギ、ヒノキが168立方メートルを占めています。木造の大学施設は全国的にも珍しく、県産FSC認証材や、CLT部材を採用したことなどから国の機関の視察もあります。



木目を基調とした大月短期大学外観

県産FSC®認証材と新たな木質部材であるCLTを取り入れた木造2階建て校舎
— 大月短期大学 —



エントランスホールではパネル展示などとともに、建設工事の様子を動画で流し、訪れる方などに広く紹介している

木造であっても耐火性能が優れている当校舎は、鉄筋コンクリート造や鉄骨造と同等の基準を満たす「1時間準耐火構造」となっています。また、強度性能が高く遮音性もあるCLTを床の材料などに使用しているため、静かで広々とした空間となっています。木造校舎という温かみのある教育環境は安らぎが感じられ、学生の情緒や健康面への効果も期待できます。森林資源が豊かなこの大月から県産材の魅力がPRできればと考え、一般の方の見学や小学校の遠足なども受け入れています。

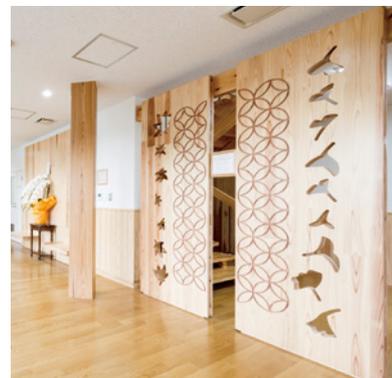
相模川上流に位置し、スギ・ヒノキなどの人工林が豊富な大月市には市産材を計画的に伐採・利活用し、森を守り・育むといった役目があります。市では、その一環として市内の公共施設をできる限り木造にしていこうとし、今回、その第1号となる大月短期大学の校舎を建設しました。



広い廊下は学生ラウンジとして使用。テーブルにも県産材を使っている



図書室の空調には、地中熱を利用している



エントランスホールにあるCLT。穴をあけても強度がある。図柄デザインは学生たちが考案した



大講堂「岩殿ホール」の柱、梁などの構造部材にも、木材を使用している

「エネ
ルギー」

木質バイオマス資源の利用拡大

森林内に残されていた間伐材などを有効利用するため、市町村の温泉施設などへの木質バイオマスボイラーやストーブなどの導入に対し支援しています。また、ボイラーなどの導入を検討している施設に対して、専門技術者を派遣し導入に向けた提案も行っています。

木質バイオマスのさらなる利用を目指して

―やまなし木質バイオマス協議会―

山梨県の木質バイオマスの安定供給、森林資源を利用した持続可能な循環型の社会づくりを推進するため、関連企業、NPO法人、県などにより平成23年に協議会が設立されました。協議会では、木質バイオマスや、その利用機器の普及PR、安定供給の仕組み作り、燃焼効率などの調査、また、研修や説明会の実施などを行っています。



木質バイオマス



やまなし木質バイオマス協議会事務局

志沢 美香さん



伐採された松枯れ材は、移動式チップパー機によりチップ化され、ゴルフ場へ搬出される

事業者だけでなく、一般家庭用の薪ストーブやペレットストーブの設置などについての相談も行う一方、環境に優しい再生可能エネルギーを使うことへの意識を多くの方々に伝えていきます。

最近では移動式チップパー機を導入し、現場近くでのチップ化が可能となり、安定供給できる実例もあるなど木質バイオマスのさらなる普及が期待されています。

地産地消による再生可能エネルギー

―レイクウッドGCサンパーク明野コース―

オープンして25年、美しい森林環境の中にあるゴルフ場として好評をいただいています。ここ5年ほど松くい虫による松枯れが深刻な状況となりました。そのような中、やまなし木質バイオマス協議会の会員であり、北杜市明野地区の森林を整備している有限会社・藤原造林から、伐採した松枯れ材を再生可能エネルギーとして活用する木質チップボイラーの提案をいただきました。早速、やまなし木質バイオマス協議会も交え検討に入り、木質

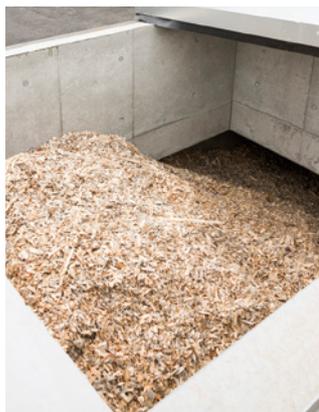


オーストリア製のボイラー5台で、クラブハウス内の入浴施設やレストランなどの給湯を賄っている



レイクウッドゴルフクラブサンパーク明野コース 支配人 佐藤 充彦さん

チップボイラーをすでに使用している徳島県の事例を視察しました。ゴルフ場で活用するには木質チップの安定供給が不可欠ですが、藤原造林の土場はゴルフ場に近く、その場でチップを作り、すぐに搬入してもらえると、いう好条件と、ボイラー導入などに対する県からの補助金が受けられることから、木質チップボイラーの導入に踏み切ることができました。ゴルフ場としての取り組みは日本初のモデルケースであることから、国のCO₂削減事業のモデルになり、関係団体から視察の依頼も受けています。



チップ庫には約10日分の木質チップが貯蔵され、自動的にボイラーに供給される

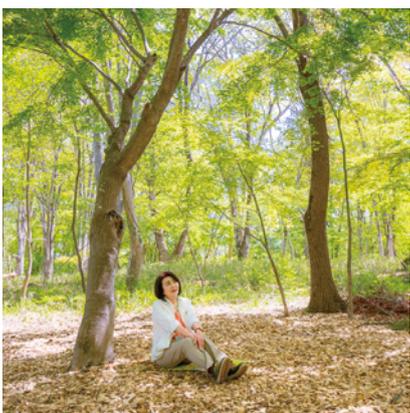
場 森林を観光資源や地域資源として活用

県有林を活用した森林の魅力のPRや、森林セラピー®など新たな森林空間の利用により、都市住民との多様な交流や機会を創出して、森林の観光・レクリエーション利用を推進しています。また、キノコをはじめとする特用林産物を地域資源として安定供給できる体制を整えています。

身近な里山を活用した「森林セラピー®」

— 武田の杜 —

甲府市北部に位置する武田の杜は平成25年に森林セラピー®基地として認定されました。森林セラピー®とは医学的に裏付けされた森林浴効果のことをいい、森林を利用して心身の健康維持・増進、疾病の予防を行うことを目的としています。



豊かな自然に親しむ癒しのスポット「武田の杜」には、森林学習展示館、キャンプ場などが点在し、四季を通して楽しめる

森林のパワーを効果的に受け取るためには、五感を働かせることが重要です。森林に入ったら、目を閉じて風を感じたり、木の葉に触れたり、時には寝転んでみてください。武田の杜は初心者から中・上級者まで楽しめる遊歩道が整備されていて、四季折々の森林の魅力に出会えます。また、私たち森林セラピーガイドが案内する体験ツアーでは、森の中を歩いた後に、地元・湯村温泉郷のおかみさんに



【問い合わせ先】
武田の杜サービスセンター TEL・FAX 055-251-8551

武田の杜

検索



ちが考案した、地元の食材を使った「森林セラピー弁当」と、入浴が楽しめるプログラムを用意しています。森林、食、温泉が楽しめるこのツアーは、県内外の方ももちろん、外国人観光客にも人気があります。今後も森林セラピー®と観光を結び付けた仕組み作りを進めて、山梨の森林の魅力を広げていきたいと思っています。



武田の杜
森林セラピー基地運営協議会
部長
宮澤 恭子さん

特用林産物を生かした地域活性化

特用林産物とは、森林から生産される産物のうち、一般の木材以外のもので、代表的なものに「キノコ」があります。県では、特用林産物の生産体制整備と生産者の確保・育成を行い、特用林産物を生かした地域活性化を目指しています。

※特用林産物について詳しくは、P14の新シリーズ「やまなしサイエンスラボ」で紹介しています。



キノコの収穫量の少ない夏場に発生する「クロアワビタケ」

やまなしの魅力ある森林スポット100選

四季が織りなす美しい森林景観は、本県の観光資源です。広大な県有林には、いまだに知られていない魅力あるスポットが数多くあります。本冊子では、代表的な森林スポットと観光施設などを組み合わせたモデルコースを紹介しています。

この冊子は、県の各林務環境事務所、市町村観光窓口などで配布しています。



今年の夏はスマートな省エネで

県では、県民、事業者、行政が「丸」となつて、環境に優しいライフスタイルへの転換に取り組む「やまなしエコライフ県民運動」を推進しています。

また、近年では、「やまなし省エネ県民運動」を展開し、エネルギーを無理なく無駄なく使う「スマートな(賢い)省エネ」を促進しています。



「CO₂ゼロやまなし」を目指して

県では、2050(平成62)年を目標に、クリーンエネルギーの導入促進、省エネルギー対策、森林整備などにより県内の二酸化炭素排出量をゼロにす「CO₂ゼロやまなし」の実現を目指しています。そこで、家庭や企業におけるライフスタイルの転換に取り組む、やまなしエコライフ県民運動として、「身近でできる7つのエコ活動」を推奨しています。こうした中、県内におけるマイバッグ持参率は今年の3月時点で86%を超え、緑のカーテンの設置に取り組む方も増えてきています。

また、やまなし省エネ県民運動の新たな取り組みとして、家庭のエアコン使用を減らし、涼しい場所をみんなで分かち合い、省エネ・節電につなげる「クールシェア」の実施を呼び掛けていきます。

今年の夏は、ライフスタイルの見直しとスマートな省エネの実践により、「CO₂ゼロやまなし」の実現に向けて取り組んでいきましょう。

やまなしクールシェア 7月1日～9月30日

「クールシェアスポット」として登録していた商業施設や公共施設などには、建物の入り口に、「クールシェアスポット」と書かれたのぼり旗を設置します。

今年の夏は、みんなでクールシェアしましょう。



■「クールシェアスポット」は、県のホームページでご確認ください。

マイバッグ運動

買物にはマイバッグやマイバスケットを持って行きましょう



県内におけるマイバッグ持参率86.4%(H29.3)

エコはし運動

外食時やお弁当を食べる際にはエコはしを利用しましょう



マイボトル運動

外出時にはマイボトルを携帯しましょう



身近でできる 7つの エコ活動

リユースびん運動

繰り返し使えるリユースびん入りの商品を購入しましょう



エコドライブ運動

アイドリングストップなど環境に優しいエコドライブを実践しましょう



緑のカーテン運動

緑のカーテンをつくりエアコンの使用を控えましょう



環境家計簿運動

家庭で排出されるCO₂量を計算して、その削減に努めましょう





山梨県地球温暖化対策実行計画を 改定しました

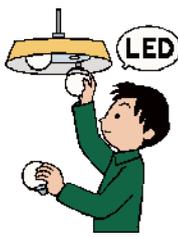
温室効果ガス排出の抑制を進めるため、山梨県としての温室効果ガス削減目標など、具体的な行動指針となる「山梨県地球温暖化対策実行計画」を平成21年に策定し、地球温暖化の防止に取り組んでいます。

今年3月、国の「地球温暖化対策計画」における温室効果ガスの削減目標などとの整合性を図るため、実行計画の改定を行いました。

県の新たな実行計画では、計画期間を2017(平成29)年度から2030(平成42)年度までの14年間とし、温室効果ガスの排出量を2030(平成42)年度に、2013(平成25)年度比で26%

削減する目標を掲げました。

また、県民の皆さんや事業者が具体的な取り組みを進めるための実践例をまとめた「ガイドブック編」を新たに作成し、県のホームページで公開しています。



「ガイドブック編」は、こちらから

やまなし 温暖化対策

やまなし水素シンポジウム

環境に優しい燃料電池や身近になってきた水素社会について、一緒に学びましょう。

- 日時 7月31日(月)10:00~
- 場所 県立図書館1階イベントスペース
- 第1部 午前10時~
水素ガイドツアー「水素・燃料電池を学ぼう」
対象・定員：小学5、6年生・18人
- 第2部 午後1時30分~
専門家による講演と意見交換
講師：ジャーナリスト・環境カウンセラー
崎田 裕子氏
山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター長
飯山 明裕氏
定員：100人

※燃料電池自動車「ミライ」の試乗体験も行います。



■申し込み方法など、詳しくは、エネルギー政策課までお問い合わせいただくか、県ホームページをご覧ください。
エネルギー企画担当：TEL 055-223-1502

やまなし 水素シンポ



社員一丸となって省エネに取り組む

—THK株式会社甲府工場—

県では、エネルギー・環境問題に、積極的かつ継続的に取り組み、優れた成果を上げた事業者を「やまなし省エネスマートカンパニー大賞」として表彰しています。

そこで、過去に大賞を受賞したTHK株式会社甲府工場を訪ね、その取り組みについて伺いました。

全社員が

「省エネチェックリスト」を携帯 省エネ意識の向上に努める

当工場では、水銀灯や蛍光灯のLEDへの交換、工場の屋根への断熱効果の高いハイタフシートの設置といった

ハード面での対策に加え、日常的な省エネ意識の高揚にも努めています。具体的には、独自に作成した「省エネチェックリスト」を全社員に配布し、各部署、各個人の目標を設定・記入した上で、常時携帯させています。また、年2回、全



THK株式会社 甲府工場
環境教育課課長
大久保 義明さん

社員参加による環境に関する勉強会も実施しています。さらに、東京本社では、年2回、国内5工場の担当者による「省エネ総会議」を開催しています。会議では、省エネ対策の実施内容や成果の発表、課題解決への検討などを行い、情報共有を図っています。

空調停止当番表の活用といったきめ細かな対応により、止め忘れもなくなり、社員の意識改革が図られるなど、着実に成果が上がっています。



空調の止め忘れを防ぐため
手作りの当番表を活用



工場の屋根にハイタフシートを設置し
建物内の温度上昇を抑えている

【問い合わせ先】 エネルギー政策課 TEL 055-223-1506 FAX 055-223-1505

やまなし エネルギー政策

期待が高まる山梨の養殖魚

豊かで清らかな名水に恵まれた山梨は、県産ブランド魚「甲斐サーモン」などをはじめとした全国有数の淡水魚の養殖産地です。こころした地の利を最大限に生かし、キングサーモンとニジマスを交配した新たな養殖魚の開発に日本で初めて成功しました。今後は、東京オリンピック・パラリンピックに合わせてこの魚を県民の皆さまや観光客に提供できる体制を整えていきます。



日本初、キングサーモンとニジマスを交配した新たな養殖魚の開発に成功



水産技術センター 忍野支所
三浦 正之 研究員

これまで当センターでは、試験的に飼育していたキングサーモン（和名・マスのスケ）を利用して付加価値の高い魚を開発し、実用化するための研究を進めてきました。昨年12月、国の承認が得られ、この新ブランド魚を養殖利用

できることになりました。

サケ・マス類では最大のサイズを誇り、食材としても世界的に高く評価さ

れているキングサーモンは、我が国では希少で飼育も難しい魚です。今回開発に成功したのは、キングサーモンを父に、餌をよく食べ成長が早いといった養殖に適した性質を持つニジマスを母に持つ魚です。両親の良いところを受け継いだこの魚は、肉質、味わい共に最高ランクとなることが期待できます。また、加熱加工された餌のみを用いて淡水中で養殖されるため、生食でも食べることができます。

新ブランド魚の名称については「山梨らしさ・魚の掛け合わせ」

などの視点により一般公募から選び、今後、発表する予定です。



キングサーモンとニジマスの掛け合わせにより生まれた新ブランド魚。3年で全長70cmほどに成長。



名水で育んだ山梨県産ブランド魚



甲斐サーモン

重さ1kg以上の大型のニジマス。サーモンピンクの身は、あっさりとしているながら、上品な脂が適度に乘った上品な味わい。生食はもちろん、さまざまな料理に使われる。



豊富で良質な山梨の水を利用した広大な養殖場。「魚の味は水に大きく左右されるんだ」と語る清さん

富士山をはじめ、雄大な山々がもたらす豊かな水は、淡水魚の養殖には最適です。おいしい魚を生産するのに、これほど恵まれた地域は他にはないと



山梨県養殖漁業協同組合 副組合長 清 泰彦さん



恵まれた環境と確かな技術で 新ブランド魚の養殖に挑む

新ブランド魚の試験的な養殖は、今年の秋から民間の養殖場で始まり、東京オリンピック・パラリンピックが開催

される3年後の2020年には、いよいよ流通が開始される予定です。

思っています。この環境と、使用する餌にもこだわって養殖された魚は、どれも高く評価され、売り上げも好調です。

新ブランド魚については、サケ・マス類の中でも、味、サイズ共に最高とされるキングサーモンの血を継ぐとあって、さらに期待が高まります。たとえば、従来の魚に比べて飼育が難しいとしても、長年培ってきた確かな技術を駆使して立派に育てていきますので、3年後に予定している流通開始を楽しみにしてください。



山梨の淡水魚に会いに行こう!

県立富士湧水の里水族館



県内の川や湖にすむ魚や水生生物を展示している日本有数の淡水魚水族館。中央には大きな二重回遊水槽があり、イトウやニジマスなど多くの魚を間近に見ることができる。絶滅危惧種となっているホトケドジョウなども展示。2階では、さまざまな体験学習も実施。



忍野村忍草3098-1 さかな公園内
TEL 0555-20-5135

富士湧水の里



ふじかわもろこ

琵琶湖固有種であり、幻の高級魚と言われるホンモロコを、南アルプスの清流を用いて飼育。栄養価が高く、香ばしい。



甲斐サーモンレッド

「甲斐サーモン」にブドウの果皮粉末を混ぜ合わせた餌を与えている。鮮やかな赤色の身と、コクのあるうまみを持つ、「山梨ならではの」ブランド魚。



やまなし サイエンスラボ

山梨の産業の活性化や県民生活の
向上を目指す試験研究機関の紹介

vol. ① 森林総合研究所



正確な試験結果を得るため、キノコを栽培するための瓶を釜で加熱し、雑菌を取り除く

森林資源の研究で広がる 地域活性化の可能性

森林総合研究所は、森林資源であるキノコ「クロアワビタケ」の新品種の
開発や、薬用植物の産地化を目指す取り組みを行っています。

森林の保全と資源の 利用を図る試験研究

当研究所は、山梨県の森林・林業木
材に関する研究を目的に、全国で3番
目の県立林業試験場として昭和10年
に、富士吉田市に設立された、長い歴史
を持つ試験研究機関です。

平成6年に富士川町の現在の地に移
転し、名称も「山梨県森林総合研究
所」と改め、現在は、生産科、環境科、資
源利用科の3科で、森林の育成、希少植
物の保全、自然環境の保護、獣害対策、
木材等の利用など、森林が持つ多様な
機能の保全や、新たな利用などについて
試験研究に取り組んでいます。また、研
修・普及科では、研修や指導を通して
研究成果の普及や林業技術者の養成

を行っています。

クロアワビタケの新品種 開発と栽培法の確立

私が所属する「生産科」では、森林の
育成や、キノコ、山菜、薬用植物をはじ
めとした特用林産物の試験研究を通
し、地域の活性化につながる、森林を活
用した新しい事業を創出するための研
究に取り組んでいます。特に、キノコの
収穫量が少ない夏場に生産者の収入増
につなげようと、平成23年から、温暖な
気候でも収穫ができる「クロアワビタ
ケ」に着目し、品種改良を行いました。
その結果、気温が高い時期に長期間収
穫が可能な新品種を開発するととも
に、栽培法を確立しました。

現在は、県と生産者などによる生産



森林総合研究所
森林研究部 生産科
戸沢 一宏 主任研究員



研究員の指導のもと、薬用植物で地域を活性化していきたいです

芦安の将来を考える会
会長 森本 章雄さん

「芦安の将来を考える会」は、住民主体で地域活性化を図ろうと、有志で設立しました。過疎・高齢化が進む南アルプス市芦安に、戸沢研究員から、薬用植物を生かした町おこしの提案をいただきました。芦安の地に合った作りやすい薬用植物の生産から活用までの指導を受けています。薬用植物を民宿で薬膳料理として提供して観光客に喜んでいただき、薬草の産地として登山シーズン以外にも訪れてもらえるようにしたいですね。



さまざまなキノコの種菌を用い、品種開発を行う(上)
キノコの栽培に適した環境を調べるため、何度も栽培試験を繰り返す(下)



森林総合研究所



【問い合わせ先】
TEL 0556-22-8001 FAX 0556-22-8002

山梨森林総研 [検索](#)

シミックハケ岳薬用植物園

平成24年4月1日から、医薬品会社シミックホールディングス(株)がネーミングライツ(施設命名権)スポンサーとなりました。同社と山梨県は、薬用植物に関する共同研究にも取り組んでいます。



【問い合わせ先】
TEL 0551-36-4200 FAX 0551-36-2502

シミックハケ岳 [検索](#)

薬用植物の品種開発から商品化に向けた研究

平成9年にオープンした森林総合研究所の附属施設であるシミックハケ岳薬用植物園(北杜市小淵沢町)では、現



肉厚でアワビに似た歯応えが特徴の「クロアワビタケ」。県産ブランドキノコとして期待される

拡大と販路開拓に向けた協議会の開催、山梨学院短期大学食物栄養科と連携したレシピ開発なども行われ、ブランド化が進められています。

在、約60種類の薬用植物が試験栽培されています。当園は、一般向けにも開放されていることから、四季を通して多くの方々が訪れます。

薬用植物の効用などについての研究では、新たな品種と、その栽培加工法を開発し、商品化を進めるとともに、産地による林業や地域経済の活性化にもつなげていきたいと考えています。具体的には、薬用植物で町おこしを目指す取り組みや、薬膳料理として観光客へ提供するなど観光面での活用も視野に入れていきます。

山梨県の地形は変化に富み、さまざまな森林資源に恵まれていますので、これを保全活用していくための試験研究に今後も取り組んでいきます。



[シュン!]

瞬

やまなしの

vol.
13

林業が女性も活躍できる場であることを
広める存在になりたい

株式会社
神子沢みこざわ林業入社二年目

山木花さん



ベテラン作業員の指導を受けながら、念願の現場で伐採に初挑戦！
「思っていたより力が必要で難しい面もあったけど、木が倒れる瞬間は快感でした」と山木さん

（左下）20年ほど前から女性社員の採用・育成に積極的
に取り組んできたと語る神子沢社長。「女性社員は、純粋
な気持ちで、真面目に仕事に取り組んでくれる。現場で
は、性別に関係なくそれぞれの能力を生かして活躍できる
ので、女性も林業に挑戦してもらいたいです」

（右下）「女性ならではの悩みも気軽に相談できる、優しく
頼もしい先輩たち。いつも支えてもらっています」と、先輩
を慕う山木さん



神子沢林業

自然の中で働きたい！ 商業高校から林業の世界へ

子どもの頃から、自然が大好きで、
緑あふれる公園などでよく遊んだとい
う山木花さん。商業高校に進学しま
したが、卒業後はオフィスではなく、自
然と触れ合える環境で働きたいと考
えていたと言います。

そんな山木さんが職業として林業
を選んだきっかけは、就職説明会での
神子沢社長との出会い。「社長から、
水を蓄えたり、さまざまな動物が生息
していたりする森は、大切な財産とし
て、未来へと受け継いでいかなければな
らないこと、森林は必要に応じて伐採
や、植栽をして管理することが大切だ
ということも教えてもらいました。そし
て、山梨の森には伐採の時期を迎えた
木がたくさんあるので、人手不足で作
業が追い付いていかない現状も。でも、
ごく一部の作業を除けば女性でも十
分にできる仕事で、実際、現場で活躍
している女性が大勢いることも教えて
もらいました。社長の話を聞いて、『林
業、いいな』、そして、何より林業への思
いを熱く語る社長の姿を見て、一緒に
働きたい、チェーンソーで木を切つてみた

いと強く思い、林業という職に就くこと
を決めました」

現場で活躍する先輩のように
私も早く一人前になりたい

入社したばかりの山木さんは、現在、
製材所で間伐材をチップにする作業
を手伝いながら、林業のことを勉強
中。「会社には大工さんもいるので、昨
日も、大工さんに指導を受けながら、
製材所の棚の扉を作りました。毎日い
ろいろな仕事を経験させてもらい、新
鮮で楽しいです」と笑顔で話します。
現場作業に必要な資格も順次取得
しているそうで、「刈払機取扱作業者
と、チェーンソー作業者の講習を受け、
認定をいただきました。次は、重機オ
ペレーターの免許に挑戦です」と意気
込みます。

「神子沢林業には、5人の女性の先
輩がいますが、皆さん、森林施業プラン
ナーや重機オペレーターとして活躍して
いますし、結婚・出産・育児休暇を経て
職場復帰した先輩もいます。私も、憧れ
の先輩たちのように、早く一人前になれ
るよう、頑張ります」。山木さんの瞳か
らは、強い意志がうかがえました。

近藤喜則

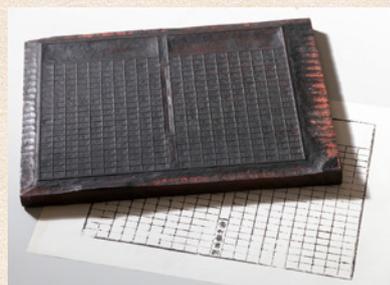
日本の根底となる教育と殖産興業に尽力

1832-
1901



ミツマタを手に握る近藤喜則(南部町立美術館蔵)

近代日本の黎明期に
民衆の教育の必要性に気付き
私塾「蒙軒学舎」を設立した近藤喜則。
先進的な人間教育を実践するとともに
ミツマタ栽培の普及など殖産興業にも努め
峡南地域の発展に力を尽くした。



蒙軒学舎で使用された原稿用紙の版木
(南部町立南部中学校蔵)



「蒙軒学舎」の名を冠した、南部町立南部中学校

各地を遊学し見聞を広め 目指す道を切り開く

近藤喜則は、1832(天保3)年、巨摩郡南部宿(現南部町)で本陣を務める近藤家の次男として生まれた。

近藤家は代々名主を務める財産家で、役人や文人がしばしば滞在した。10歳で手習いを始め、食客から算術などを学んだ喜則は、16歳のとき市川代官所より長百姓見習に命ぜられ、村の仕事を手伝うようになった。その後、駿河国吉原(現静岡県富士市)の叔父の家に寄宿し、塾で漢学を学んだり、江戸や日光へ旅行したりして見聞を広めた。

19歳になった喜則は、郡中惣代を務める父の代理として、村政に携わるようになり、黒船が来航した1853(嘉永6)年には、妻を迎え、家督を継いだ。幕末の動乱期に、次々と港が開港し、異国の文化が流入していた頃、喜則は、伊豆や江戸、長崎へ遊学し、激しく揺れ動く世の移り変わりを体感した。また、異国船から日本を守るため反射炉を造り、大砲を製造した伊豆韮山の代官・江川太郎左衛門英龍にも影響を受け、江川の座右の銘である「敬慎第実用専務」(実学の体得に専らつとめること)を自らの規範とする

ようになった。

私塾「蒙軒学舎」を設立し 子弟の教育に尽力

峡南地域の生活・文化を豊かにするという志に燃えていた喜則は、1869(明治2)年、実家裏手にある妙浄寺の一室に「修身立志の道を自得せしむるにあり」(生き方や学ぶ意味と目的を生徒自ら悟り得ることを教育方針とする私塾「聴水堂」)を創設。喜則、37歳の時だった。開塾当初は旧幕臣を師に迎え、十数人の少年らに漢学を教えていたが、神主、儒者、そして静岡から招いた師も加わるようになると、日本外などといった講義も行われ、私塾名も「蒙軒学舎」と改めた。

1876(明治9)年にはカナダ・メソジスト教会の宣教師C・S・イビー博士を招き、英語と聖書の講義を行うなど、先進的な思想も教授した。質の高い教育が評判となり、静岡などからも生徒が訪れた。

教育の場から殖産興業へと 世界を広げる

1872(明治5)年、巨摩郡第三十五区区長に選出されると、まもなく山梨県の区長総代となり、学区総理も兼

ねるようになった。諸制度の改革が急速に進められる中、1873(明治6)年に着任した藤村紫朗権令(後の県令)の下、地域行政や殖産興業にも従事した。



元県令・藤村紫朗撰文の椎山近藤翁碑が、愛宕神社(甲府市)にある

1875(明治8)年には、周辺の村に働き掛け、蒙軒学舎の一部を改修するなどして、義立南部病院を開院。後に県立病院の分院となり、長く峡南地域の医療を支えた。

また、喜則は、富士川沿岸のやせ地にミツマタ(紙の原料)栽培を広め、1875(明治8)年に大蔵省へ紙幣用のミツマタを納める契約を結んだ。その翌年には多額の資本金を出資して「殖産社」を設立。ミツマタ栽培の普及や品質改良に努めるなど、地元農家の経済を潤すため、無給で奔走した。その熱意は、自らを「殖産人」とも号するほどであった。

1879(明治12)年、山梨県初の県議会議員選挙で当選し、初代議長に選出される。しかし、翌年辞任し、以降はミツマタの産業講師として全国を巡回するなど、「国本ノ根底タル育成ト殖産」の実践に専念した。その後、それまでの社会奉仕の功績が認められ、1891(明治24)年に緑綬褒章を受章。1901(明治34)年、68歳で生涯を閉じた。



山梨近代人物館

山梨県庁舎別館2階(甲府市丸の内1-6-1)

第5回展示「郷土のために尽くした人々」
期間：～9月27日

開館時間：午前9時～午後5時
休館日：第2・4火曜日/12月29日～1月3日
入館料：無料
TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991

フランスラグビー協会が 富士北麓公園を視察

県 と富士吉田市では、2020年東京オリンピックにおけるフランスラグビーチームの事前合宿の実施に向けた取り組みを進めています。

5月には、フランスラグビー協会会長ら4人が、練習場として使用する富士北麓公園を視察し、陸上競技場や体育館など選手が実際に使用する施設を、県と市の担当者から説明を受けながら、丹念に見て回りました。視察後、「行からは「芝の質も高く、施設も充実していて、合宿に適している」との高い評価をいただきました。



視察に訪れたフランスラグビー協会幹部らと、後藤知事(左から2番目)

山梨の観光資源「信玄公祭り」を海外に発信

訪

日客の誘致に力を入れている本県では、経済発展が著しい東南アジア諸国からの誘客を促進するため、さまざまな取り組みを行っています。中でも、インドネシアの国営航空会社であるガルーダ・インドネシア航空会社とは、平成25年に相互協力に関する覚書を締結し、これまでに、県内観光地でのサイクリングツアー、富士山PRキャンペーン、

機内での県産ワインの提供といった共同事業を展開してきました。

4月に開催した信玄公祭りには、ガルーダ・インドネシア航空会社の幹部などで編成された隊が初めて参加し、世界最大のサムライパレードとしてギネスブックに登録されている甲州軍団出陣を盛り上げてくれました。

また、9月には、インドネシアに出向き、現地で開催される旅行博覧会で本県のPRを行う予定があるなど、インドネシアと本県との交流が、今後より一層深まっていくことが期待されます。

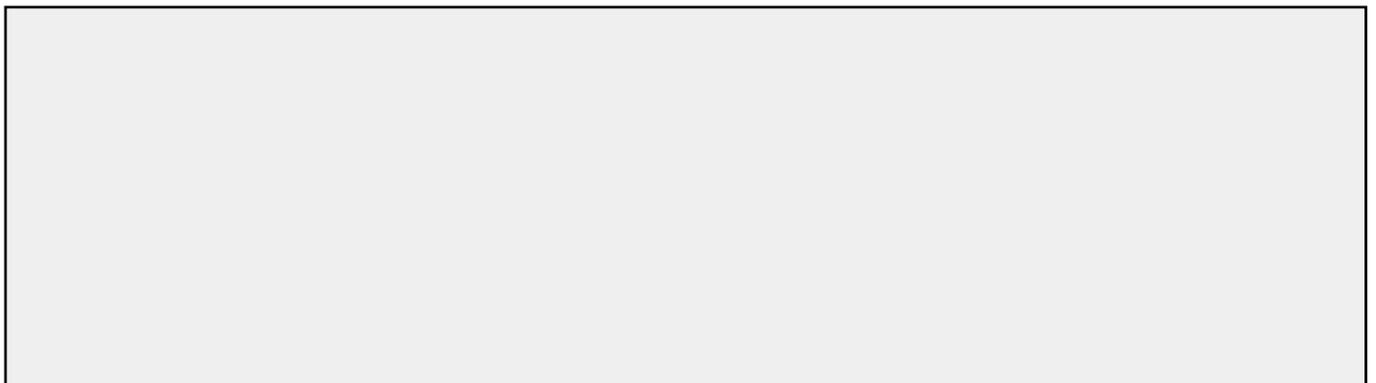


勝ちどきを上げるガルーダ・インドネシア航空隊と後藤知事



よらいを身に着け、堂々と行進するガルーダ・インドネシア航空隊

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。





チャイルドシートの装着方法を学ぶ妊娠中の夫婦ら

チャイルドシートの正しい取り付け方を学ぶ

昨年の山梨県のチャイルドシート着用率は49%と、全国平均の64%を大幅に下回り、全国ワースト4位となっています。このため、県では、乗車中の乳幼児の安全確保に向け、「チャイルドシート講習会」を開催しています。北杜市で開催した講習会は、チャイルドシートの取り付け作業を行うことので多い父親が参加しやすい土曜日に設定し、妊娠中の夫婦など約30人が、チャイルドシート着用の大切さや正しい装着方法を学びました。

今後も、県内各地で講習会を開催し、チャイルドシート着用の普及啓発に取り組んでいきます。

ふれあいアンケート&読者プレゼント

今回のプレゼント

甘々娘のおかき
(プレーン・辛みのセット)

抽選で**10名**の方に!



「やまなし美味しい甲斐」のホームページで通販もご利用いただけます。

美味しい甲斐

検索



アンケート

問1:今号の中で最も関心を持った内容は?
問2:緑豊かな山梨に生まれて、よかったと思うことは?
※頂いたご意見の一部は、秋号で紹介させていただきます。

応募方法

アンケートの回答と、次の①～⑤をご記入の上、はがき
電子メール、ファクスのいずれかの方法でご応募ください。
①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号

応募先

山梨県広聴広報課「ふれあい読者プレゼント」係
はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp
(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

締め切り

7月31日(月)(当日消印有効)

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。
個人情報、商品の発送のみに使用します。

結果発表! あなたが感動した「おもてなし」は?

春号のアンケートに寄せられたご意見の一部を紹介します。

最も多かったのが、宿泊施設や飲食店などでのおもてなし

泊まった宿で、手作りのハンカチ、お手製の案内地図をプレゼントしてくれた(南アルプス市・60代男性)。食後に飲もうとテーブルの上に置いた薬にレストランの店員が気付き、さりげなく水を用意してくれた(富士河口湖町・50代女性)。宿泊したホテルで、結婚記念日だと知ったスタッフの方が部屋に飾り付けをしてくれた(南アルプス市・40代女性)。モモ農家にモモを買いに行った時、自家製のモモの漬物をごちそうしてくれた(甲斐市・50代男性)など。

その他

県外から来た友人を甲府城に案内した時、ボランティアの方が声を掛けてくれ、説明をしてくれた(甲府市・30代女性)。イベントで順番待ちの行列に並んでいた時、警備員さんが飽きてきた5歳の孫の遊び相手になってくれた(山梨市・50代女性)。友人が家庭菜園で育てた野菜を使い、料理を作ってくれた(甲斐市・70代女性)など。

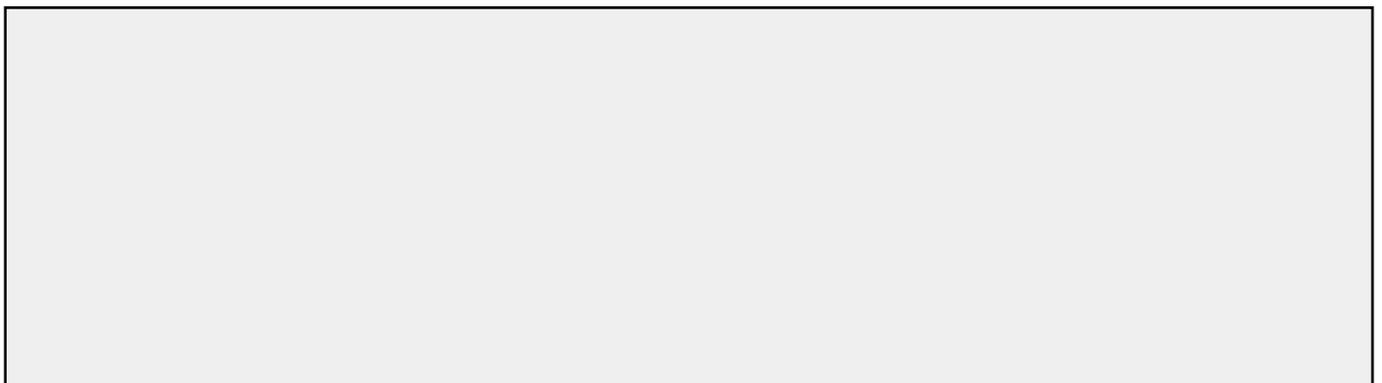
山梨県の広報誌 **ふれあい** が
読める無料アプリ



マチイロ 検索

「マチイロ」のアプリをダウンロード(無料)すると、スマートフォンで「ふれあい」が読めます。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



夏季企画展 「考古博の土偶」

考古博物館のアイドル土偶「いっちゃん」をはじめ、県内各地で発見されたえりすぐりの土偶たちを一挙に公開します。見ていると思わず笑顔になる面白い表情をした土偶や、普段は展示していない貴重なコレクションもこの機会に紹介します。また、夏休み期間中の展示に合わせて、「土偶と埴輪って、どこが違うの?」「どんな意味があるの?」など、子どもたちの素朴な疑問にもお答えします。

開催期間／7月15日(土)～8月27日(日)
観覧料／無料



土偶 いっちゃん(重要文化財)
一の沢遺跡(笛吹市) 縄文時代中期



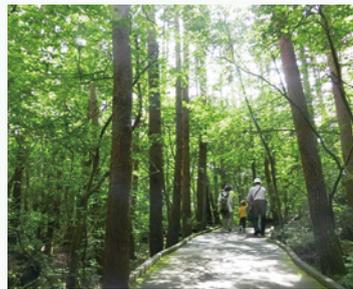
土偶 桂野遺跡(笛吹市) 縄文時代中期

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206 FAX 0555-72-6183

森のガイドウォーク

富士山科学研究所周辺の森を歩きながら、溶岩の上にてきた森の成り立ちや移り変わり、そこにすむ動物・生育している植物の特徴などを、専属の解説員が説明します。一周300メートルの遊歩道は、車いすやベビーカーの利用も可能ですので、気軽に参加できます。また、解説員が入れ替わり案内しますので、毎回、新たな発見があります。季節によって変わりゆく森の様子を、目や耳、森の中の空気から感じとってみてはいかがでしょうか。



研究所周辺にある、ゆったりとした遊歩道



森のガイドウォーク(解説員による森の紹介)

開催日／7月8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)、17日(月・祝)、22日(土)～31日(月)
8月1日(火)～20日(日)、26日(土)、27日(日)
開催時間／①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～ ⑤15:00～ 所要時間は約50分
参加料／無料

富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-0259
FAX 0555-72-0211

企画展 「再現 富嶽三十六景の世界」展

浮世絵師・葛飾北斎が描いた富嶽三十六景には、富士見の名所となった各地の名勝や信仰にゆかりのある文物が描かれています。富嶽三十六景を通して見えてくる世界遺産富士山の魅力を紹介します。



富嶽三十六景「甲州三坂水面」
(山梨県立博物館蔵)

開催期間／7月26日(水)～9月25日(月)
観覧料／一般420円 大学生210円
(常設展観覧料でご覧いただけます)

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

夏期特別企画展 「科学捜査展 ～真犯人はだれ?!～」

指紋鑑定をはじめ、DNA鑑定や画像解析方法など科学捜査の最先端技術を紹介いたします。会場内にセットされた事件現場の証拠から、真犯人をゲーム感覚で探す科学捜査体験や謎解きチャレンジもあります。



開催期間／7月15日(土)～8月27日(日)
観覧料／大人200円 高校生以下無料
※入館料別途。土曜日は、高校生以下入館無料



県立施設の最新情報をお届け

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

フジフィルム・フォトコレクション

「私の1枚」日本の写真史を飾った101人

1848(嘉永元)年に写真技術が伝来して以来、日本では多くの優れた写真家が作品を残してきました。本展では、その中でも特に重要な101人の写真家が撮影した「この1枚」と呼べる代表作を展示し、日本写真史の軌跡を紹介いたします。幕末の写真をはじめ、戦前戦後に活動した木村伊兵衛などの代表作、そして荒木経惟といった今日現役で活動する写真家たちの作品など、日本写真史を語る上で欠かせない作品をぜひご覧ください。



木村伊兵衛(秋田おぼこ 秋田・大曲)
1953年 富士フィルム株式会社蔵



荒木経惟(センチメンタルな旅)より
1971年 富士フィルム株式会社蔵

開催期間／7月1日(土)～8月20日(日)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展 「人類と宇宙 - 星空をめぐる歴史物語 -」

キトラ古墳(奈良県)の天文図やロケット開発の歴史、山梨初公開となる小惑星探査機「はやぶさ」が持ち帰ったイトカワ微粒子の実物資料などを展示し、人類と宇宙の関わり方の歴史を紹介いたします。太古の人々による宇宙観測から、最新の科学技術による宇宙開発まで、人々が宇宙に挑み続けてきた足跡をたどることで、広大で今なお謎に満ちた宇宙と、私たちが生きる地球をより身近に感じていただけます。夏休みは、博物館で宇宙旅行をお楽しみください。



開催期間／7月15日(土)～8月28日(月)
観覧料／一般500円 大学生250円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

特設展 「作家のデビュー展」

樋口一葉 芥川龍之介 太宰治 林真理子 保坂和志 神永学 辻村深月 ほか

山梨にゆかりの深い作家のデビュー当時の作品の魅力や、当時の作家の思いについて紹介します。樋口一葉の手紙、芥川龍之介「羅生門」草稿、「太宰治」署名の原稿の中で最も古い「陰火」原稿など、近代作家の初期の名品資料を展示します。また、山梨県出身で現在活躍中の林真理子、保坂和志、神永学、辻村深月の直筆も間近で見ることができます。会期中は「文豪ストレイドッグス」とのコラボレーション企画もあります。ぜひ、お楽しみください。



太宰治「陰火」原稿(山梨県立文学館蔵)



©2016 朝霧カフカ・春河35/KADOKAWA/文豪ストレイドッグス製作委員会
「文豪ストレイドッグス」キャラクター
樋口一葉

開催期間／7月15日(土)～8月27日(日)
観覧料／一般320円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

やまなしの おもてなし 「レシピ」13



モモの夏サラダ

恵まれた日差しの中で、真っ赤に色付いた山梨県産のモモを、夏らしいサラダにアレンジ。さっぱりとした酸味と甘みは、甲州ワインにもよく合います。彩りも爽やかな夏の一品が出来ました。

- 【材料】(2人分)** 1人当たりの食塩相当量0.5g※1
- 県産モモ(硬めのもの)……………1個
 - クレソン……………適量
 - スプラウト……………適量
 - ゆでたオクラ……………5本
 - 長イモ……………100g

- ドレッシング**
- カルピス……………大さじ1
 - 白ワインビネガー……………大さじ1
 - マスカルポーネチーズ……………大さじ1
 - ハーブソルト……………少々

※1 国の基準では男性8.0g/日、女性7.0g/日未満が目標準です

【作り方】

- ①ボウルにカルピスと白ワインビネガー、マスカルポーネチーズ、ハーブソルトを入れ混ぜ合わせ、ドレッシングを作っておく。
- ②モモは種に近いところまで包丁で切れ目を入れて半分に割り、スプーンで種を取り出し、くし形に切って皮をむく。種に近い赤い部分は取り分けて、細かく切っておく。
- ③クレソン、スプラウト、ゆでたオクラを食べやすい大きさに切る。
- ④長イモは皮をむいて、薄めの短冊切りにする。
- ⑤①のボウルの中に②のくし形に切ったモモと、④の長イモを入れてあえ、冷蔵庫で10分ほど冷やす。
- ⑥皿にクレソンを広げ、⑤のをせ、オクラとスプラウトを散らす。②で取り分けたモモの赤い部分を飾り、ボウルに残っているドレッシングをかけ、出来上がり。

ワンポイントアドバイス

生ハムをプラスすればさらに華やかになり、夏のおもてなしに最適です。



料理監修
フードコーディネーター
荻澤香苗

動画で見よう

①スマートフォンまたはタブレットに「Layar」のARアプリをダウンロード(無料)②アプリを起動③料理の写真にかざした後、画面をタップすると動画が再生されます。

Layar (レイヤー)

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



■やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、FSC森林管理認証を取得した山梨県有林からの木材が使用されています。